

# 香川

高松総局  
〒760-0018  
高松市天神前2-1  
☎087(833)4141  
FAX(831)5737

観音寺支局  
〒768-0061  
観音寺市八幡町1-8-39  
☎0875(25)3851  
FAX(25)2551

丸亀支局  
〒763-0065  
丸亀市塩屋町5-10-32  
☎0877(22)2450  
FAX(25)3081

購読申し込み  
専用ダイヤル  
0120-22-0843  
(9:00~17:00)

購読・配達のご用は

高松	(837) 2802
	(866) 3984
坂出	(59) 2370
観音寺	(25) 2016
東かがわ	(26) 1028
丸亀	(22) 3015
土庄	(62) 0286
広告のご用は	
高松	(861) 4797
折り込みは	
高松	(812) 2811

## 虐待受けた子の一通の手紙きっかけ

助産師として30年以上働いた経験をもとに、全国で年に200回近く、命と性をテーマに講演を続ける高松市の山本文子さん(61)は、子どもたちに「んなことばを投げかける」「親を捨てる」「親を超えろ」——命の大切さ、親の愛を訴える山本文さんがこんなことを言うのには訳がある。虐待を受けた経験を持つ男の子からもらった、一通の手紙。  
(渋井玄人)

### 命の大切さ訴える助産師 山本文子さん

# 「親を捨てる」「親を超えろ」…呼びかける理由は 傷抱えた子 強く生きて



「みんなが生まれたとき、お父さんとお母さんは涙を流して喜んだんだよ。講演で山本文さんはいつも、出産の感動を話す。反響は大きい。荒れた子も感想文に親への感謝の言葉をあふれさせる。涙を流す子どもも少なくない。

だが4年前、犯罪を起した少年の更生施設での講演後、感想文を読んでハッとしました。「これでも親に感謝しないといかんのですか」

「みんなが生まれたとき、お父さんとお母さんは涙を流して喜んだんだよ。講演で山本文さんはいつも、出産の感動を話す。反響は大きい。荒れた子も感想文に親への感謝の言葉をあふれさせる。涙を流す子どもも少なくない。だが4年前、犯罪を起した少年の更生施設での講演後、感想文を読んでハッとしました。「これでも親に感謝しないといかんのですか」

「親に大切にされていたなら感謝すればいい。でも親から嫌な思いをさせられていたのなら、そんな親になるな。親を超えろ人になる。ひどい親ならば、親をあなたたちから捨てなさい」

「親に大切にされていたなら感謝すればいい。でも親から嫌な思いをさせられていたのなら、そんな親になるな。親を超えろ人になる。ひどい親ならば、親をあなたたちから捨てなさい」

1週間後、感想文が届く。「ありがとう。すぐわかった。ほくのために来てくれたんですね。あの子がいたんだ。「だけど、こんな親でも僕の親です。父さんと母さん大好きです」

「性教育とは、突き詰めれば人をどうやって愛するのかを教えることだと、子どもの感想文から学んだ。大人には、子どもは親が好きだということをよくわかってほしい」と山本文さん。講演内容や反響をまとめた「いのちの応援団II」(1300円)が、晩聲社から出版されている。

## それでも、子どもは親が好き

「性教育とは、突き詰めれば人をどうやって愛するのかを教えることだと、子どもの感想文から学んだ。大人には、子どもは親が好きだということをよくわかってほしい」と山本文さん。講演内容や反響をまとめた「いのちの応援団II」(1300円)が、晩聲社から出版されている。